

令和3年3月19日

意見発表

渡辺(ひ)委員

本委員会に付託された諸議案並びに所管事項について、公明党として意見要望を申し述べます。

はじめに、高校生等への経済的な就学支援策についてです。

経済的な課題を抱えながらも、学ぶ意欲のある高校生等に対する就学支援は極めて重要です。とりわけ現在のコロナ禍においては、その意義は大きいと思います。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、今後も経済的な困難を抱えた生徒、家庭が増えていくことが懸念されます。このような生徒、家庭に対して、拡充された高校生等奨学給付金などの制度をしっかりと周知するとともに、支援していくことを要望します。

その上で、特に高等学校奨学金について現在アンケート調査を実施中ですが、今後、それらを踏まえた制度の拡充等の検討を強く要望します。あわせて、奨学金返還金財源を活用した県単独支援事業の取組も検討することを要望します。

次に、学校における外部人材の活用についてです。

社会が多様化、複雑化している中で、学校にも様々な期待が寄せられており、そうした対応にこたえていく上で外部人材の活用は欠かせないと思います。また、外部人材の活用により、学校教育に対する様々なニーズに応えるとともに、教職員の負担軽減を図ることも重要です。そのためのスクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカー等を拡充することについては、評価します。その上で、今後、さらにそれらの人材の役割はますます重要になってくると思います。よって、高い専門性や豊富な経験を有する人材を確保するとともに、活躍してもらうために、採用、評価などの制度設計はもとより、運用面を含めたしっかりした取組を推進することを要望します。

次に、日本語学習コンテンツの共同開発事業についてです。

本県は、全国的に見ても外国につながるの児童・生徒が多く、県立高校へも多数のそれら生徒が在籍しています。しかし、現状では使用されている日本語学習教材等はばらばらです。それらが今後、統一的な学習コンテンツが利用できるようになる意義は大きいと思います。外国につながるの生徒がこうした学習コンテンツ、LINE studyを利用して日本語の学習機会を持つことにより、日本語の運用能力の向上につながるものと考えます。

その上で、開発後はまずは県立高校での活用となりますが、将来的には市町村教育委員会とも連携して、小中学校の児童・生徒や夜間中学にも活用できるよう推進することを要望します。

次に、中学校夜間学級の設置についてです。

令和4年4月の相模原市立の夜間中学の設置に向けて、相模原市教育委員会をはじめ広域的な仕組みに参画する市町村教育委員会との協議調整を丁寧に行ってほしいと思います。また、関係団体との情報連携や既存の夜間中学のある横浜市、川崎市教育委員会からも情報提供してもらうなど、引き続き連携し、

推進していただきたいと思います。

特に、入学者数や教職員配置の検討については、特段の配慮、検討が必要と考えます。そして、その後の取組として、横浜市、川崎市の既存夜間中学の広域的な対応も検討していただきたいと要望させていただきます。

最後に、県立学校の施設整備についてです。

新まなびや計画に基づく県立学校の施設整備について、耐震化や老朽化対策と併せて、現代の生活様式に合ったトイレの洋式化を着実に推進することを要望します。また、学校施設のバリアフリー化にも一層取り組んでいただきたいと思います。

さらに、地球温暖化の影響で近年記録的な猛暑が続く中、安全で快適な学習環境を確保するため、空調設備の整備も着実に推進することを要望します。

その上で、災害時に避難所として利用される学校については、その重要度を踏まえた優先的な整備を要望します。

以上、意見要望を述べ、本委員会に付託された諸議案に賛成させていただきます。